

(「デジタル放送時代の視聴覚障害者向け放送に関する研究会」資料)

字幕放送・手話番組の現況（メモ）

平成18年10月23日

N H K

(1) 基本的な考え方

(字幕放送)

- NHKは、これまで、障害者・高齢者向けサービスを公共放送の重要な責務と考え、拡充に努めてきた。
- 中でも字幕放送については、「平成19年までに、ニュースやスポーツ等の生放送と著作権上字幕化が困難な番組を除き、午前7時から午前0時までの字幕化100%」との“行政の指針”をふまえて長期計画を策定、その実現に取り組んできた。
- 平成17年度後期現在、総合テレビの字幕付与可能番組での字幕化率は98.2%（対総放送時間比では40.0%）であり、当初の計画を1年前倒しして、平成18年後期に100%達成を目指しているところである。
- テレビに字幕機能が標準装備されるデジタル放送時代を迎え、障害者だけでなくすべての人が情報格差なく放送を楽しめるために、字幕放送の充実を図っていく。

(手話番組)

- 手話番組として、現在、「NHK手話ニュース」・「こども手話ウィークリー」・「NHKみんなの手話」・「ろうを生きる難聴を生きる」など、1週間に7番組、合計3時間40分のニュース・番組を放送している。
- NHKでは、聴覚障害者への放送サービスとしては、字幕放送を中心に拡充に努め、手話番組については、編成面の工夫や内容の一層の充実を図ることとしている。

(2) 字幕化の歩み（総合テレビ）

年度	字幕化率（ ）は総放送時間比	放送時間（週）	字幕化したおもな番組
昭和60（1985）	— （2. 4）	3時間00分	連続テレビ小説「いちばん太鼓」※字幕放送開始
平成 6（1994）	— （9. 5）	12時間09分	ドラマの全番組
平成 9（1997）	— （12. 9）	20時間59分	※郵政省（現総務省）の「行政上の指針」策定
平成12（2000）	67. 6%（19. 8）	33時間16分	「プロジェクトX」・「ニュース7」（生）※ニュース生字幕開始
平成13（2001）	73. 4%（22. 9）	38時間24分	「ニュース9」（生）・「紅白歌合戦」（生）
平成14（2002）	77. 9%（27. 1）	45時間33分	「ソルトレーク五輪」（生）・「日韓W杯サッカー」（生）・「小さな旅」
平成15（2003）	92. 4%（33. 2）	55時間42分	「大相撲」（生）・プロ野球（生）・「歌謡コンサート」（生）
平成16（2004）	89. 5%（34. 9）	58時間36分	「アテネ五輪」（生）・「おはよう日本（一部）」（生）
平成17（2005）	98. 2%（40. 0）	67時間14分	「MLB」（生）・「トリノ五輪」（生）・「探検ロマン世界遺産」
平成18（2006）	—	—	「ドイツW杯サッカー」（生）

(3) 生放送番組の字幕化

生字幕放送の方式

名 称	方 式	実施番組	特 性
音声自動認識	事前に作成した辞書がアナウンサーの実況音声をそのまま認識して字幕化。	MLB中継	低コスト。 アナウンサーの実況のみ可能。
音声自動認識 (リスピーク)	字幕制作のためのアナウンサーが静かなスタジオで番組音声を聞きながら要約したものを字幕化。	プロ野球・大相撲・W杯 などのスポーツ中継	解説者・ゲストの音声も可能。 複数のアナウンサーが必要。
スピードワープロ	速記用のキーボードを使い高速入力して字幕化。	ニュース	事前の準備（辞書作成等）が不要。 専門オペレーターの確保が必要。
キーボード入力	通常のパソコン3台を使い、短いセンテンスで交代しながら字幕化。	紅白歌合戦などの歌謡番組、福祉番組	多様なジャンルの番組に対応可能。 長時間の入力は困難。

- 「おはよう日本」「正午のニュース」「ニュース7」「ニュースウォッチ9」など、朝から夜までの主要ニュースをすべて字幕化している。
 - ・ 従来、選挙関連ニュース、政治討論番組では、「正確さ」「公平さ」の完全な確保が未だ困難であるとの理由から、生字幕の付与を見送ってきた。しかし、ユーザーからの要望が多く、検討の結果、生字幕の信頼性は向上しつつあると判断し、平成17年9月総選挙で初めて字幕を付与した。

(ニュース以外の生字幕放送実施番組については、別紙参照)

(4) 総合テレビ以外の各波の字幕化

各波の字幕化の現状

波	字幕放送開始年度	17年度字幕化率（総放送時間比）	17年度放送時間（／週）
総合テレビ	昭和60	40.0%	67時間14分
教育テレビ	平成11	27.9%	46時間19分
衛星第2テレビ	平成9	28.3%	47時間28分
衛星ハイビジョン（デジタル）	平成12	31.9%	53時間34分

(5) 地域放送の字幕化

地域放送の字幕化の現状

	字幕放送開始年度	字幕化した番組（17年度）
大阪放送局	平成16	「関西もっといい旅」・「京都上がる下がる」・「地球ウォーカー」
名古屋放送局	平成16	「東海ナビゲーション」・「ビジネス未来人」・「巨樹は語る」 NHKスペシャル「よみがえる源氏物語絵巻」の再放送
福岡放送局	平成18	「九州・沖縄スペシャル」（18年度）
仙台放送局	平成18	「クローズアップ東北」（18年度）

- 地域においても、一日のうちの大半は東京発の全国放送番組が放送されている。
また、ローカル番組のほとんどは、ニュースを始め生放送の情報番組である。

(6) 字幕放送のその他の課題

- 新しいデジタル放送サービスとの連動
 - ・ データ放送、インターネット、ワンセグ放送 など

- 新技術の開発と、それにとまなう新しい制作体制の検討、
そのためのコスト負担の考え方

- 障害者が望むことは何か、についての検証
 - ・ 字幕を望む番組のジャンルは何か、放送時間帯はどうか
 - ・ どのくらい逐語訳に近いものが必要か
 - ・ 機器購入時の費用補助について など

(7) 手話番組

手話番組一覧 (いずれも教育テレビ)

番組名	放送開始年	曜日	放送時刻	内容時間
NHK手話ニュース	平成 2年	月～金	13:00 ~ 13:05	5分
		土・日	19:55 ~ 20:00	5分
NHK手話ニュース845	平成 2年	月～金	20:45 ~ 21:00	15分
こども手話ウィークリー	平成10年	金	19:50 ~ 20:00	10分
週間手話ニュース	平成 7年	土	11:45 ~ 12:00	15分
NHKみんなの手話 (再)	平成 2年	土	21:30 ~ 21:55	25分
		金	6:45 ~ 7:10	25分
ろうを生きる難聴を生きる (再)	平成16年	日	20:30 ~ 20:45	15分
		日	6:40 ~ 6:55	15分
ワンポイント手話	平成 8年	土	21:55 ~ 22:00	5分

- ニュースは日々最新情報を時間との戦いの中で伝えるものであり、また、常に新しいことばが登場するために、手話で伝えるのが困難な分野である。
- NHKでは、手話ニュースを放送するにあたり、報道局内に専従セクションを設置し、手話で表現しやすいようにニュース原稿を書き換えたり、できるだけ多くの項目が入るように原稿を思い切って要約したり、見やすい図表を新たに作成するなど、いろいろな工夫を重ねて放送している。
- 一般番組については、引き続き、字幕放送を中心に聴覚障害者向けのサービスの拡充に努める。